留学希望調書

　　　　年　　　月現在

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　　　名 |  |  |
| 姓 | 名 |
| 氏名（アルファベット） | Last Name | First Name |
| 学生番号 |  |
| 所　　　　　 属 | 〔学　部〕　　　　　　課程　　　　　選修・専攻　　　　　年 |
| 〔大学院〕　　　 　　専攻　　　　　　　　コース　　　　年 |
| 生年月日 | 〔西暦〕　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 現住所 | 〒 |
| 電話・E-mail | 携帯電話： |
| 固定電話： |
| E-mail（PC）： |
| E-mail（携帯）： |
| 留学希望大学 | 第１希望 | 第２希望 |
| 語圏：中国･韓国･英･独･仏･西･準英大学 | 語圏：中国･韓国･英･独･仏･西･準英大学 |
| 留学希望期間 | 年　　　月　～　　　　　年　　　月　（　　　ヶ月）（相手校の授業暦などを調べ，よく検討したうえで記入すること） |
| 語学検定試験 | 〔英語〕　TOEFL 点　　　　　　年　　　月受験　　　　　IELTS　　　　　　　点　　　　　　年　　　月受験 |
| 〔その他語圏〕試験名　　　　　　　取得級/得点　　　　　　　　　年　　月受験 |
| 留学経験の有無（当てはまる場合のみ記入。複数ある場合は直近に参加したものを記入すること） | 交換留学 | 短期プログラム（３週間以上） |
| 派遣先大学 |  | プログラム名 |  |
| 渡航期間 | 　　　　　年　　　月～　　　　　年　　　月 | 渡航期間 | 　　　　　年　　　月～　　　　　年　　　月 |

指導教員推薦書

　学生氏名

記載書類を確認したうえで，上記学生を

以下の記載書類を確認しました。

□ 留学希望調書

□ 保証人承諾書

□ 履修計画書

□ 成績通知書（GPA2.0以上）

□ 小論文

　　　　　□　強く推薦する

　　　　　□　推薦する

　　　　　□　推薦しない

　※該当箇所をチェックし，下欄に記載してください。

指導教員意見欄

|  |
| --- |
| 指導教員氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |

※必ず封入してください。

保証人承諾書

東京学芸大学

国際戦略推進本部長　殿

　　　　　　　私は，

学生番号

学生氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　が

海外派遣留学をすることについて，承諾いたします。

令和　　　　　年　　　　　月　　　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 保証人住所 | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Tel（　　　　　）　　　　　－ |
| 保証人氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 学生との関係 |  |

履修計画書

学生番号

学生氏名

留学希望期間　　　　　　　　　年　　　　月～　　　　　　年　　　　月

卒業予定年月　　　　　　　　　年　　　　月

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 履修予定年度（学年） | 春学期 | 秋学期 |
| 　記入例1 | 2021（3学年） | 事前指導 | 留学 |
| 2022（4学年） | 留学教育実地研究Ⅰ | 事後指導 |
| 2023（4学年） | 教育実地研究Ⅱ卒業研究 | 教職実践演習卒業研究 |
| 記入例２ | 2021（4学年） | 教育実地研究Ⅱ卒業研究（前） | 留学 |
| 2022（4学年） | 留学 | 教職実践演習卒業研究（後） |
| 2021（　　　学年） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
| 2022（　　　学年） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
| 2023（　　　学年） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
| 2024（　　　学年） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
| 2025（　　　学年） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |

※2021年度以降に履修予定の介護等体験，教育実習等（事前・事後指導，教育実地研究Ⅰ，教育実施研究Ⅱ）教職実践演習，卒業研究（「記入例２」のように，学務課に相談の上，年度の異なる春学期と秋学期に分割履修することも可）について記入すること。記入にあたっては指導教員によく相談すること。